

* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は、洗濯・理容・浴場業、娯楽業が大きく悪化傾向を強め、その他サービス業は悪化傾向を強めました。一方、旅館・その他の宿泊所業、情報サービス・調査・広告業は大きく悪化傾向を弱め、自動車整備・駐車場業でも悪化傾向を弱めました。全体的には-51と1ポイントわずかに悪化傾向を強めました。売上額は7ポイント、収益は10ポイント減少傾向を弱めました。価格面では、料金価格は4ポイント下降傾向を強め、材料価格は6ポイント上昇傾向を弱めました。資金繰りは横ばいとなりました。残業時間は5ポイント減少傾向を弱め、人手はほぼ適正から過剰に転じました。設備の状況は4ポイント不足感を強め、設備投資については、機械設備の更改を中心に21%と、前期に比べ5ポイント減少しました。

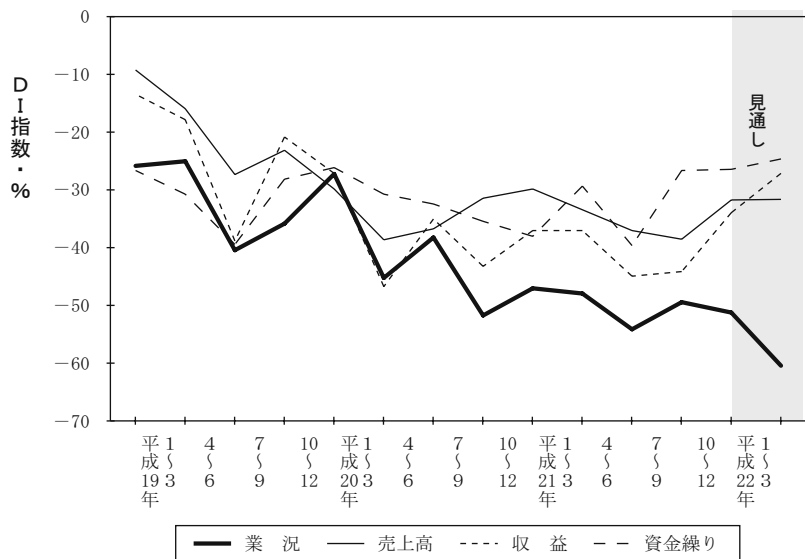
来期の見通し

業況は、情報サービス・調査・広告業が大きく悪化傾向を強めるとみえており、自動車整備・駐車場業は悪化傾向を強めるとみえています。また、洗濯・理容・浴場業、その他サービス業でも悪化傾向を強めるとみえています。一方、旅館・その他の宿泊所業、娯楽業は悪化傾向を弱めそうですが、全体的には-61と10ポイント悪化傾向を強めるとみえています。売上額は横ばい、収益は7ポイント悪化傾向を弱めるとみえています。価格面では、料金価格は1ポイントわずかに下降傾向を強め、材料価格は5ポイント上昇傾向を強めそうです。資金繰りは2ポイント窮屈感が弱まるとみえています。残業時間は5ポイント減少傾向を弱め、人手は4ポイント過剰感が強まりそうです。設備の状況は4ポイント不足感が弱まり、設備投資については機械設備の新、増設を中心に20%の先が実施予定とし、今期に比べ1ポイント減少するとみえています。

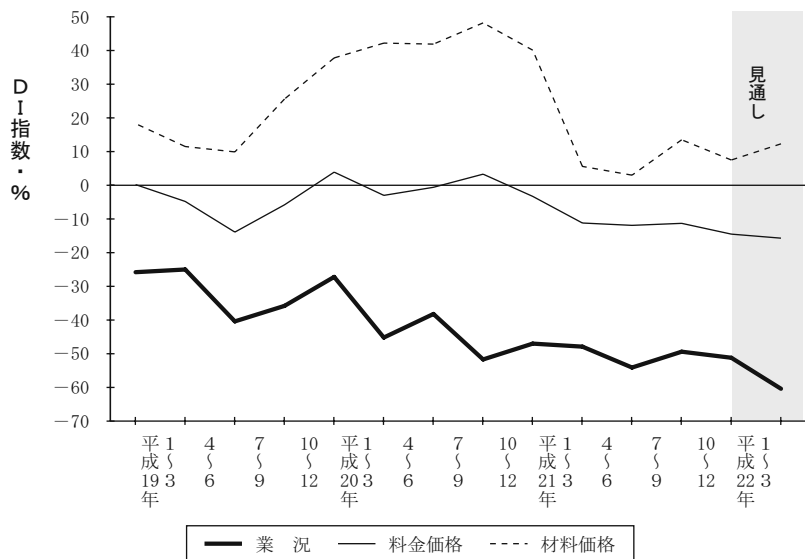
調査員のコメント

- 24時間ロードサービスにより、整備修理部門の売上は順調に推移しているが、車両販売の不振により全体的な売上高は減少傾向である。(自動車販売整備業)
- 商圏人口の減少に伴い、売上がやや減少傾向にある。固定客は確保しているが、今後の課題としては、販路(新規顧客)の拡大や従業員のパート化など経費節減である。(クリーニング業)

景況の推移

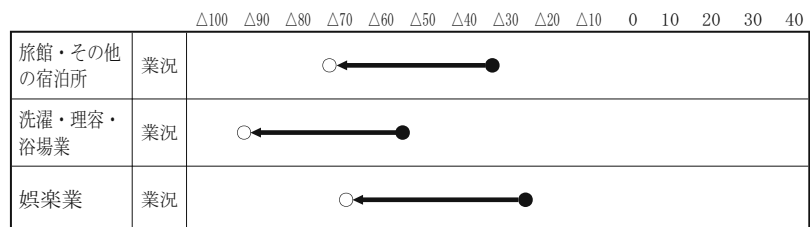


主な指標の動き



業種別業況判断DIの推移

今期(21年10月~12月) / 前期(21年7月~9月)



順位	課題	割合
1位	売上の停滞・減少(1)	66%
2位	同業者間の競争の激化(2)	41%
3位	利幅の縮小(3)	21%

順位	施策	割合
1位	経費を節減する(1)	66%
2位	販路を広げる(2)	46%
3位	技術力を強化する(5)	25%

*()は前回順位